



2023.2.26

糸が絡まってしまったイルカ (🙄)

今年の1月、身体にぐるっと釣り糸のようなものが巻いているイルカを発見しました。この糸は、左目から、体幹・尾びれまでかかっています。(左目はおそらく失明)

このイルカは、まだ子どもの大きさで、そばには母と思われるイルカがいつも寄り添っています。すぐに取ればよかったですが残念ながら、成長しようとする体にどんどん食い込んでいきました。

発見時はまだまだ元気で、背びれもしっかり立ち上がっていましたが、次第にやせ細り明らかに弱っていています。背びれの根本が半分ほど千切れ、倒れてきました。腰から尾びれには、この糸に海そうが絡まり・・・まるで、おもりを下げて泳いでいるかのようです。

7月の時点では、呼吸をするのもつらそうな様子でした。

イルカやクジラの体内から、大量のプラスチックゴミが発見されたり、海底に何十年も前のゴミがそのまま堆積していたりと、海洋ゴミの問題は世界の危機的課題です。2050年には、海のゴミが魚の総量を超えるという衝撃的な未来予測も明らかになっていきます。すでに「知らなかった」「自分一人くらいが」というレベルではすまされなくらいが、海の汚染は深刻です。

海の生き物たち(海鳥たちも)は、本当に苦しんでいます。そして、その影響は結局、私たち人間の環境にかえってきます。

この1頭のイルカを救うことはできませんが、悲しい出来事が繰り返されることを減らすために、私たち全員が学び、行動におこしていかなければいけません。



# 天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

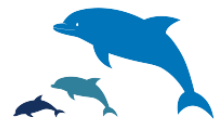


やってるよ!

お願いします

海はゴミ捨て場ではありません

ゴミは  
ゴミ箱に  
捨てましょう



## Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカラボ



amakusa\_dolphin



検索